

みんなの社プリ～教科書太字の確認～ No.3

古代までの日本 日本列島の誕生と大陸の交流

<弥生文化と邪馬台国>

- (1) 稲作が日本で広まったところ、稲の穂をかり取るために使われた石器。
- (2) 稲作とともに大陸から日本に伝わった、青銅器と鉄器の総称。
- (3) 稲作が広まった時代に使われた、薄くてかたい、右下の土器。
- (4) (3)の土器が使われ、本格的に稲作が始まった時代。
- (5) 静岡県で発見された、弥生時代の代表的なむらの遺跡。
- (6) 佐賀県で発見された、弥生時代の代表的なむらの遺跡。
- (7) 中国（漢）の歴史書に書かれていた、日本の呼び名。
- (8) 1世紀中ごろ、奴国の王が後漢に使いを送ったときに皇帝から授けられたと考えられている物。
- (9) 魏志倭人伝に書かれている、30余りの小国を従えて、魏に朝貢した国。
- (10) 魏の皇帝に使いを送った、邪馬台国の女王。



(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	
(10)	

<大王の時代>

- (1) 3世紀後半に生まれた、近畿地方の有力な豪族らによる強大な政権。
- (2) 3世紀後半ごろから盛んに造られるようになった、権力者の巨大な墓。
- (3) 右の絵のような形の古墳。
- (4) 古墳が盛んに造られた、6世紀末ごろまでの時代。
- (5) 5世紀ごろの大和政権の王の呼び名。
- (6) 古墳の上などに置かれた、人や馬などをかたどった土製の焼き物。
- (7) 5～6世紀、中国で南北の国々が対立していた時代。
- (8) 朝鮮半島から日本列島に一族で移り住み、大陸の文化を伝えた人々。
- (9) 渡来人が日本に伝えた技術で作られた、かたくて黒っぽい土器。



(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	